

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ゼン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	ΔRG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ゼン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

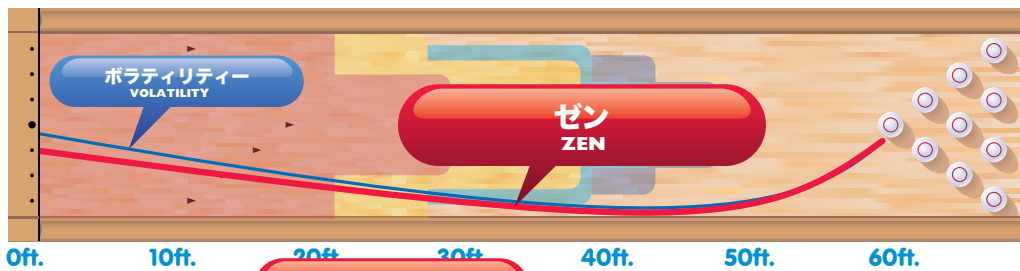
**比較対照ボール：ボラティリティー**

フレアーの幅  インチ

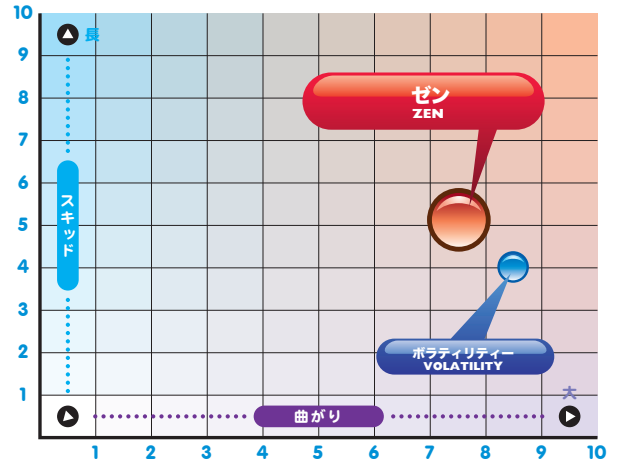
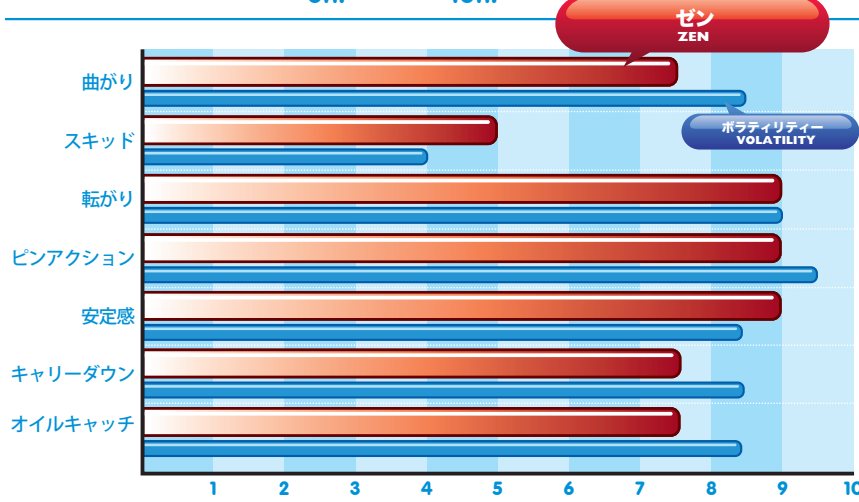
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

太陰太極図(たいいんたいきよくず)という「陰」と「陽」のマークが施されていて、ネーミングは「ZEN」。対称の図の「陰と陽はハッキリと真ん中で分けられるものではない」という言葉の通り、多分900Global社は「ボールの性能はすべての人に良いわけでもなく、悪いものでもない」というのを表現したかったのではないかと思います。

900Global社では初めてとなるS84領域のパール系リアクティブでカバーは仕上がっていて、Meditate Symmetricと名づけられたコアはRG 2.49でΔRG 0.051という低RG、高ΔRGとの組み合わせでできています。Meditate Symmetricコアは初めてみる新型の形状で、コア自体の動きは中盤から大きなトルクが働いているような転がり感があります。今回ZENに採用されているS77 Pearl Reactiveは今まで発売された900Globalの中でもVOLATILITYのS86Rの次に強いカバーストックであり、もちろんユタ工場に移設されてからも初めての採用です。VOLATILITYはS86Rでサンアントニオ工場ですが、ユタのS77の性能がどれほどのものなのか、正直興味もありました。

実際テストングしてみると、S86Rはガッツリと噛むイメージではありませんが薄いオイルではしっかりと反応がでて、S77のカバーと比べてもオイル量が必要なのが比較投球でわかります。新型の対称コアはやや強めのカバーとの連携でMidで動きをだすイメージを感じ取れました。そこで一度プレーキングを行い曲がりを出す感じで仕上がっており、転がりが最後まで持続するContinuous系に属すると思います。私はこのようなボールはラインのイメージがしやすいのが利点と感じていて、曲がり始めからピンヒットまでの軌道が推測しやすく、実用性の部分に焦点をあてたボールだと感じています。S77よりもう少し手前のキャッチが欲しい方はS77カバーはきっとあなたの武器になるでしょう。

### 特記事項

**初めてのS77 Pearl Reactiveと新開発のMeditate Symmetricコアとの組み合わせ。持続的な曲がりのContinuous系リアクションで、安定したキャッチと軌道を実現します。**